



第 352 号 平成19年11月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 長 村 吉 朗

京都市学校医会創立100周年記念式典・講演会・祝賀会の裏話

会 長 長 村 吉 朗

京都市学校医会創立100周年記念式典・講演会・祝賀会が開催されましたが、その際いろいろなことがありました。100周年の記念誌を作成する際に気がついたことですが、人の記憶はすぐに失われてしまい、どんな小さいことでも記録しておけば後になるとそれは資料となると言うことです。今回の準備を進めていく中であったことの一部を、正式の報告の他に残しておきたいと思います。

まず、今回の式典の会場は講演会・祝賀会と同じ京都ホテルオークラでしたが、当初は市議会場で行うことを計画しておりました。なぜなら明治42年に第一回の京都市学校医会の総会が開催されたのが市議会場だったからです。100年ぶりに総会を市議会場で行うと言うアイデアに京都市側も理解を示していただき、議会場内部の視察も行い、参加予定者の着席位置も確認するまでに話が進んでいたのですが、某前市会議長の「議場は神聖な場所であり、外部のものの使用を認めることは出来ない。」との決定により、残念ながらこのアイデアは実現しませんでした。最も、実現していたなら当日の陽気から考えて、冷房のない（土・日は市役所全体が冷暖房は行われません）市議会場に200名からの参加者を収容していたら、大変な暑さとなっていたと思われる。演壇上の私どもは上着を脱ぐことも出来ず、まさか熱中症になったとは思いませんが、汗だくになっていたことでしょう。又、終了後の移動ではどれだけの参加者が市役所の中で迷ってしまったか分かりませんし、又、向かいとはいえ講演会・祝賀会会場まで全員がたどり着くまでどれくらいの時間が

かかったかも心配でした。が、残念であったことは事実です。

また、今回の記念式典に池坊保子文部科学副大臣に、そして祝賀会には伊吹文明文部科学大臣に挨拶をしていただきました。学校医会にとって実に名誉でうれしいことでした。しかしながらこれはお二人の地元が京都であったから実現したことで、京都市学校医会の名前が文部科学省に認知されているからではありません。これが分かったのは、秋の連休であり宿泊する場合に宿が取りにくいことを考え、4月に主だった来賓には事前の案内状を出したからです。そうしたところ、早速文部科学省から電話が来ました。その内容は「この話は大臣には直接通っていますか？」と言うもので、伊吹大臣が京都選出であるため、地元で既に予定が出来ていないかの問い合わせでした。これに対しこちらは「全く話をしておりません。ぶっちゃけ、9月には大臣が替わっている可能性が高いですから。」と言いますと、次の言葉がありませんでした。そこでこちらより「この様な場合大臣に出席していただくことは可能ですか？ だめなら、名代でも・・・。」と言ったところ、「文部科学省としましては、地方の団体に人を出すことはしておりませんし、代理も現地に出張機関が存在しないため無理であると思われる。」との返事でした（多少はぼやかして話されていました）。そこで「祝電ぐらいはくださいね。」とお願いをしてその時は終わりました。その後8月27日の組閣で伊吹大臣、池坊副大臣共に留任となり、これは今回の100周年の話をしに行かなくてはと思っていたところ、その

翌日もう「伊吹事務所に話をしておいたから一緒に挨拶に行こう。」と二人の先生に言われてびっくりしました。そして挨拶に行っていたところへ携帯が鳴り、他の先生より池坊副大臣に出席してもらうよう話をしておいた、との連絡が入ったのです。なんとついている、と本当に思いました。これが真実です。しかしながら、100周年の記念すべき時に京都にゆかりのある人が大臣と副大臣になっているとは、これまでの先人の苦労に報いるにあたってまたとない記念になりました。そしてまた、式典の終わった翌々日には伊吹大臣が自民党の幹事長に就任され、文部科学大臣でなくなるとは……。何という運なのでしょうか……。

その他にも、式典・講演会・祝賀会には当初150

名程度の参加者だろうと予測して計画を立てていました。それが式典に200名、講演会に230名、祝賀会に240名、のべ271名の参加者になるうとは思っていませんでした。少し手応えがよさそうだと気づき、祝賀会は何とか早めに大きな会場に変更が出来ました。しかし、式典は市議会場を使用するつもりでいたため変更をしませんでした。そのため、表彰者だけで最前列から後ろまで隙間なく座っていただくこととなってしまいました。講演会も満席で立ち見になるかと心配しましたが、何とか切り抜けました。後10名でも参加者が増えればどうなっていたか分かりません。本当に先人たちに守られた100周年記念式典・講演会・祝賀会であったと思っております。

小学生陸上競技会に参加して

福西小学校校医 奥村正治

第36回京都市小学生陸上競技記録会が小雨のふる中、西京極陸上競技場兼球技場で10月8日(月・祝)体育の日に行われました。

当日、雨等で中止の場合は、大会委員長よりTELにて連絡があるとの事前連絡は受けておりました。何日かすでにたっておりますので、皆様記憶にないと存じますが、当日8日の朝6時前後は「どう見ても中止だなあ」という大雨が降っておりました。午前7時半に連絡をしますというコメントを気にしながら連絡を待ちましたが、ありません。小生、当日は前日より滋賀県の今津方面におりましたので、家の方にもTELし、「京都の方は雨はどう」「ようけふっている」とのやり取りの中、「委員長よりTELがあったらちゃんと聞いて」と言って電話は切ったが何も連絡なし。朝8時を過ぎましたので、西京極までは約1時間半かかります。途中でストップの連絡があっても、と思いつながら遅刻するわけにもいかず、車を走らせました。不思議と京都に近くなるにつれ、雨の様子は良い方向に向い、西京極着の頃には傘なしで歩けるぐらいまでには回復しておりました。2名参加の医務班はもう一人、会長の長村

先生です。「もうちょっとで次の事に移る予定で、TELがかかってこないのでも西京極まで来てみました」と言っておられ、雲ゆきのあやしい時には、連絡がないにしても連絡をどこにしたら結論が出るのかの方法もあって良かったのでは？ と思ったスタートでした。

小学校6年生で出場可能な記録会です。もし雨でお流れになれば、大げさな言い方をしますが、一生記録会、西京極には出れません。陸上をしていますといっても、西京極の様な良いグラウンドで走れるという条件はそんなにありません。全天候型トラックの西京極陸上競技場です。サブグラウンドも同様です。6年生の思い出にというのには最適です。又逆に中止にするのも「よっぽどでない」という思いもあります。結果オーライで良かったね。ではすまないと思います。お天気の事は予想がついておりましたので8日(月・祭)に間にあう様に各学校に連絡の出来る最終リミットは、5日(金)です。当日、教育委員会に「当日雨の様子、今までの色々の大会を経験して、少々の雨でも大会は決行される様子、子ども達に着がえを必ずもたしてもらい、又、

リレーに出る人には2回分くらいの着がえを用意する様連絡して下さい」と当方よりいたしました。教育委員会の方は「着がえの場所の確保等々より……」と「はいわかりました」という快い回答ではありませんでした。もたもたしていてもと思ひ、当方の校医をしている小学校には直接連絡をいたしました。当日の雨の様子では、着がえは必要ないぐらいの小雨でしたので、注意喚起は必要でなかった天気でしたが、朝6時頃の雨では連絡をしていて良かったと思われるほどの雨でした。記録会の進行の予定表の小冊子には、注意事項ももり込まれております。ぜひ次回より雨天等による注意事項も組み入れてほしいものであります。影の話によりますと「注意報等が出ないかぎり、中止はありません」との声も耳にしました。小雨決行も良いですが、それなりの準備も必要かと感じました。(今年は熱中症の運動会もありました)

前ぶれが多すぎてすみません。当日の話にします。

参加校は165校。男子1686名、女子1363名、計3049名のエントリーです。当日の雨の事もあり、欠席もかなりあったのでは? と思いますが、実数はわかりません。

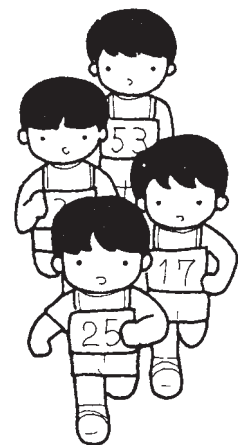
雨の事もあり、跳躍の要素のある50mハードル、走幅跳、走高跳は中止になり、それらに出る選手は100m走に変更され、100m走、800m走、400mリレーの3種目になりました。記録の方は、1週間ほどまわりましたが、報告が届きません。雨の中での走行でしたので、新記録等が出なかったのでは? と思っております。

肝心の医務の方ですが、24人(延べ)の方が医務室に来ました。内、3例が内科的疾患で、腹痛とか低体温でした。他は鼻出血を含め外科的疾患で、その中でも競技中に発生した症例は5例でした。小雨の中で行なわれた競技でしたので来室人数は多かった様に思いますが、競技外での症例が多いのは、ちゃんとしたトラックでない単なる広場等で、ウォーミングアップ等をして転んだとか、壁で腕や指をすったとか、指導者が注意していれば、医務室に来なくても良いケースも多々みられました。

競技中の症例が少なかった点などは、特に800m走においては、1レースに多くは走らない。スタートも1ブロックでスタートするのではなく、2ブロッ

クに分かれて、少しでもだんごレースが起らない様な配慮が行なわれた点など、評価する点もあった。

最後にもう1つ苦言を申すなら、AM10:00までにお越し下さい、と案内状にあるが、9:20頃にすでに駐車場に施錠してあり、競技場内に入れない。競技役員は8:30までにという事になっている様である。医師も役員の一員である。少し早いですが、車で入るなら8:30までにとか、施錠の場合は、今の世の中、ケイタイの何番に連絡せよとか案内があっほしいと思ひ、当初の予定より約1時間ほどおくれ(競技種目に変更があった等)PM5:00前に西京極をあとにしました。



HIV感染予防は適切な知識の提供から

専務理事 林 鐘 声

人づくり21世紀委員会がすすめる人づくり連続講座～大人として何ができますか？～が10月13日(土) 京都アスニーにて開催されました。

今年度の第1回目にあたり「広がるHIV感染症—性感染症蔓延の中で—」が主題でした。中学校においてHIV感染予防教育が必要なことを校医の立場から発表しました。

そのための資料をまとめていて気付いたことを述べておきます。

表1に京都市のHIV/AIDS患者の年別報告数を示しました。(ちなみにH19年は7月までにHIV、AIDSともに各4人の報告がありました。)

前半の10年間(S62—H8)と後半の10年間(H9—H18)に分けてまとめると、HIV/AIDS患者は30人(19/11)から102人(73/29)と3、4倍増加しており、しかも年々増加傾向にあることは明らかです。ここでAIDSと報告されているのは、HIV検査で感染が判明した時に既にAIDSを発症している新規患者「いきなりAIDS」患者をさしています。HIV感染してからAIDS発症までは無治療の時には平均10年とされていることから、H9—H18年に発症したAIDS患者29人は、S62—H8年の10年間にHIV感染していたと推定されます。即ち、この時期のHIV感染者は報告のあった19人に、この29人を加えた48人であったこととなります。言い換えれば感染者の2/5しか診断されず、3/5は診断されなかったため報告に挙がらなかったのみならずAIDS発症するまで放置されていたということです。早期発見、早期治療でAIDS発症を阻止できるにもかかわらず、多くのHIV感染者がいきなりAIDSになるのは、初期感染症状が特異的ではなく、しかも全例に出るわけでもなく、その後はAIDS発症まで無症候で気付きにくいことにあります。従来より、

表1：京都市におけるHIV/AIDS患者に係る報告受理件数

	S62 ~ H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	計
HIV	19	3	4	3	3	4	5	9	19	6	17	92
AIDS	11	1	2	2	3	2	4	2	2	3	8	40

HIV検査は匿名、無料で保健所で実施しており、H17年よりは夜間、H19年よりは休日にも実施するなど検査拡充はすすめられてきています。しかし覚えがなく自覚症状の乏しい感染者では、検査を受けにくい可能性は低く、放置されることにつながっていると考えられます。日本でHIV感染が拡大している第一義的な要因はここにあります。

このことをこども達に伝えることは重要です。更に普通の生活を送れるとされているものの一生治療が必要となるHIV感染者の置かれている現状を正しく知識として伝え理解させることも必要です。性行動に伴うHIV感染のリスク、HIV感染者となった時に抱えるリスクについて適切な理解が得られれば、自ずと正しい予防行動に結びつくと考えます。適切な情報の不足が感染拡大に拍車をかけることになってはなりません。



左京支部会を開催

左京支部長 平位 喜七郎

京都市学校医会創立100周年記念行事を大成功で終え、まだその余韻さめやらぬ10月14日（日）11時20分より南禅寺の瓢亭で10名の参加者で左京支部会を開催いたしました。

23名の支部員で仲々5割の出席が得られないので、ある智慧者が瓢亭でやれば大勢参加されるよとのアドバイスを受けて開催しましたが、10月は皆さんい

ろんな行事を持っておられ、あるドクターは5つの会合をどう対処しようかと嘆いていられました。

今回は、結核予防がH15年より問診票に移行したこととの経過をふまえ、はたして順調に推移しているかどうかを井上静子ドクターにスピーチして頂きました。現在、京都では問題なく行われており、ある中学生の結核発病の一症例も紹介して頂きました。又、結核感染診断のクオンティフェロンTB-2Gという新しい検査の紹介もありました。

長村会長からは、100周年記念行事の苦労話と裏話が紹介され、19年度左京支部会は豪華な会食会で有意義に終了しました。

第22回京都市小学校「大文字駅伝」大会 支部予選日程表

支部	日程	開始時間	場所	コース	予備日
北上	11/12(月)	14:30~16:30	鴨川河川敷	北大路橋~出雲路橋周回コース	11/21(木)
北下	12/13(木)	14:05~15:35	鴨川河川敷	北大路橋~出雲路橋周回コース	12/20(木)
上京	11/27(火)	15:00~17:00	鴨川河川敷	北大路橋~出雲路橋南200m東岸	11/28(木)
中京	11/1(木)	14:30~16:00	鴨川河川敷	北大路橋~出雲路橋(西岸)	11/13(火)
下京	11/21(木)	14:00~16:30	梅小路公園	芝生広場周囲ジョギングコース	11/28(木)
南	11/27(火)	14:30~16:30	梅小路公園	芝生広場外周周回コース	12/4(火)
左京北	11/22(木)	13:30~16:00	宝ヶ池公園	宝ヶ池周回コース	11/26(月)
左京南	11/29(木)	14:00~17:00	宝ヶ池公園	宝ヶ池周回コース	12/11(火)
東山	11/27(火)	13:45~16:00	鴨川河川敷(西岸)	丸太町橋~荒神橋北側(折返)	11/29(木)
山科	11/29(木)	14:00~16:35	疎水公園	安朱橋~柳山橋周回コース	12/13(木)
右京北	12/4(火)	14:30~16:30	嵐山東公園	公園内周回コース	12/5(木)
右京南	11/15(木)	14:30~16:30	西京極補助グラウンド	西京極運動公園内周回道路	未定
西京東	12/6(木)	14:00~16:00	嵐山東公園	公園内周回コース	小雨決行
西京西	11/23(金)	12:50~14:30	小畑川河川敷	福西南橋~竹の里大橋周回コース	12/1(土)
伏見中	11/23(金)	13:00~16:00	伏見北堀公園	公園周回コース	12/1(土)
伏見東	11/29(木)	14:40~16:30	山科川堤防	池田小~池田小学校通学橋~新小石橋(周回)	12/6(木)
伏見西	11/29(木)	14:15~16:30	向島南小学校・宇治川河川敷	向島南小学校~宇治川河川敷	12/6(木)
国私立	11/10(土)	10:00~12:30	宝ヶ池公園	宝ヶ池周回コース	雨天決行

第6回 常任理事会

平成19年11月2日
於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、
藤田常任理事、星谷耳鼻咽喉科理事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 陸上競技記録会 10/8 今月号参照
2. 腎臓相談 10/9
2名の相談(小学生1名、中学生1名)
3. 精神衛生研究会 10/11
9名の参加
4. HIV感染についての講習会 10/13
今月号参照
5. 左京支部会 10/14
今月号参照
6. 京都市自治記念日記念式典 10/15
京都市学校医会に表彰
7. 色覚相談 10/16、10/30
8. ワンポイント相談 10/25
1名の相談(今までに17名の相談)
9. 第59回教育功労者表彰式典 10/30
京都市学校医会に表彰
10. 京都市学校保健表彰式・研修会 10/30
平位先生、弘田先生に表彰
11. こころのケアマネージメント 10/30
杉本先生の出席 於:心の健康センター
12. その他
H18年度京都市学校医会誌 11月中に発行予定

<協議事項>

1. 人づくり21世紀委員会連続講座第2回「ケータイ電話の落とし穴」～子どもたちを被害者や加害者にさせないために～について
11月14日(水) 2:00 p m 京都アスニーにて
2. 第59回指定都市学校保健協議会の演題について
心のワンポイント相談事業を紙上提言

5月11日(日) 広島

3. 就学時検診の出務費について
振り込みとなる予定
4. 勇退校医後任について
5. その他
小4一中3でうつ病4.2%の報道について

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 11/6 11/13 11/20
2. 精神衛生研究会 11/8
3. 第38回全国学校保健・学校医大会 11/10
高松市
4. 人づくり21世紀委員会連続講座第2回 11/14
5. 京都小児科医会・京都市学校医会 学術講演会
11/17 水痘ワクチンの必要性と課題
6. 第56回近畿医師会連合学校医研究協議会総会
11/18 和歌山市
7. ワンポイント相談 11/22
8. 第7回常任理事会 12/1 2:00 p m～

